

## 編集後記

2020年度は支部総会・懇親会（私の中では、年に1度の「津田熊本分校スクーリング」と勝手に名付けています）が開催不可能となりました。でも、各人の近況を書いて報告し合おうという課題が出ました。

原稿を書く時期が大雨や猛暑の時期と重なりましたが、近況報告の文章が続々と集まってきて、大課題の文集作りが始まったのです。これまでワードをなんとなく使っていたものの、詳細は知らないことが多く、戸惑いの連続。エクセルも、行と列はどっち？からのスタートでした。

作業を進めながら、近況報告に加えて、できれば熊本支部の歴史も載せようと考え、古い引継ぎノートを頼りに年表作りに取り組みました。これは課題を越えた自由研究になりましたが、どのくらい前の先輩方まで遡れるかしら？と1981年の名簿で確認すると、一番上は28回卒の田口喜美子さん。その経歴については **Wikipedia** にも出ており、英語塾を開いて子どもたちの指導をされていた方だとわかりました。「支部の最古参は女子英学塾時代の卒業生、専門28の田口喜美子さん（1907-1993）。英語塾の先生だった。」と記しておこうと思った矢先、英大28の箕田比呂子さんが中学時代に（当時は先生が津田出身だとは知らずに）その塾に通われていたことがわかりました。これを知り、明治生まれのこの方が大変身近な存在に感じられるようになりました。箕田さんによれば、恩師の田口先生は、とても上品で穏やかだけど凛とされており、津田卒業というのが納得できる佇まいの方であったそうです。

支部の中には「先生と教え子」として繋がる方々がたくさんおられます。県立第一高校の教諭として、長く教鞭をとられた専門37の辛島信子さん（1918-1994）は、英大11の富田禮子さんの恩師。辛島先生の影響で津田へ進学した方も多くいらっしゃるそうです。博物館ネットワークセンターのサイトにある資料「辛島家のひとびと3」にもそんなエピソードが掲載されていますのでご参照ください。

他にもご紹介したい多くの先輩方がいらっしゃいますが、次頁の年表をご覧になり、以前の懇親会のことや懐かしい方々のお顔を思い出して頂ければ幸いです。なお、初代支部長を務められた専門35の米川ユキ子さんは2011年に96歳でお亡くなりになっておりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

完全リモートワークで文集完成を目指して頑張って参りましたが、なんとか夏の課題をクリア！皆様へ文集が無事に届くと完全なゴール！となります。細心の注意を払って作業をしたつもりですが、何かミスがあるかもしれません。その節は何卒ご容赦ください。（前川）

皆様のご協力に感謝をこめて。

文集編集委員会（2020年度熊本支部幹事会）  
東曜子・箕田比呂子・前川和代・川口清佳